



加 監 発 第 5 5 号  
令 和 7 年 3 月 1 9 日

加 須 市 長 角 田 守 良 様  
加 須 市 議 会 議 長 田 中 良 夫 様  
加 須 市 教 育 委 員 会 教 育 長 小 野 田 誠 様

加 須 市 監 査 委 員 秋 本 政 信

加 須 市 監 査 委 員 竹 内 政 雄

令 和 6 年 度 定 期 監 査 の 結 果 (学 校 監 査) に つ い て (報 告)

地 方 自 治 法 第 1 9 9 条 第 4 項 の 規 定 に 基 づ き、及 び 加 須 市 監 査 基 準 に 準 拠 し、定 期 監 査 を 執 行 し た の で、同 条 第 9 項 の 規 定 に よ り、そ の 結 果 を 別 添 の と お り 報 告 し ま す。

# 令和6年度学校定期監査結果報告書

## 第1 加須市監査基準に準拠している旨

監査委員は、加須市監査基準（令和2年加須市監査委員告示第4号）に準拠して監査を行った。

## 第2 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

## 第3 監査の対象学校

- (1) 三俣小学校
- (2) 不動岡小学校
- (3) 礼羽小学校
- (4) 鴻莖小学校
- (5) 高柳小学校
- (6) 豊野小学校
- (7) 加須北中学校
- (8) 騎西中学校

## 第4 監査の着眼点（評価項目）

市立の小学校及び中学校の事務に関して関係法令が遵守されているか、また、備品の管理やその他校長の権限に係る財務等に関する学校事務の執行が適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、監査を実施した。

## 第5 監査の期間

令和7年1月15日～令和7年3月19日

## 第6 監査の実施内容

令和6年度（1学期及び2学期）の学校経営状況や主要業務等に関する事務の執行状況等について必要な資料及び関係書類の提出を求め、監査委員が各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取するとともに、学校施設の現況を確認した。

## 第7 監査の結果

学校経営状況や財務等に関する学校事務の執行については、おおむね適正かつ効率的に運営されていることを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は次のとおりである。

## 1 総括的事項

学校経営に係る事業の管理については、各学校とも、加須市人づくり宣言をはじめ加須市人づくりプラン等を念頭に、学校規模、校風や児童・生徒、地域の実情等を把握された上で目指すべき学校像を定め、それらの実現に向けて各種取組事項を掲げた学校グランドデザインを明確に定めていた。

その経営・運営に当たっては、校長のリーダーシップの下、教職員間の情報の共有化が図られており、また、保護者や学校評議員をはじめ連携している地域の方々に対しても、共通理解を図りながら行われている。

なお、全体の学校経営・運営状況及び個別的事項は、次のとおりである。

## 2 学校経営・運営状況について

### (1) 組織について

校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

また、教職員の異動や新任教員の割合が高く、在校年数の短い学校もあるが、日ごろから教職員間の情報の共有化が図られるなど組織体制の強化に取り組まれている。

さらに、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後も、感染対策に留意しながら事業の実施に努められていた。

### (2) 教職員の勤務時間について

教職員の平均在校時間について、中学校では部活動の朝練習を廃止するなどにより、以前に比べると在校時間は減少傾向になっているが、年度当初は新年度の準備作業等のため、特に主幹教諭や教頭の在校時間が長くなる傾向については、引き続き見受けられた。

全ての学校で、パソコンとICカードを利用した教職員の在校時間管理を行っていた。今後も適切に在校時間の管理を行うとともに、教職員の長時間勤務の改善に向け取り組まれない。

また、教育委員会も、各学校から提出された勤務状況の資料等を活用し、市内全体の勤務時間の傾向等の情報提供を行いながら、超過勤務の削減に向けた各学校への指導を行うなど、働き方改革の推進に努められたい。

### (3) 長期欠席・いじめ認知件数について

児童・生徒の長期欠席等の状況について、コロナ禍以前と比較して一部で増加傾向がみられた。特に中学校では生徒数の12%を超える学校もあった。

一部の家庭では、積極的に学校に送り出さない状況もあるとのことであった。

長期的な対応が必要となるが、家庭との信頼関係の構築及び家庭教育に努め、児童・生徒の学校への復帰についての取組みを進められたい。

また、いじめ認知件数については、学校により差異はあるが、いずれも解消に向け対応済みであった。

今後はSNS等によるいじめも増加してくると思われることから、いじめの傾向の把握に努め、早期発見・早期解決に向けて取り組まれない。

#### (4) GIGAスクールの運用状況について

令和3年度から本格稼働し、4年度目となったこともあり、教職員全体の技能が向上してきているのが伺えたが、教科や教員により利用状況に多少の差はあるとのことであった。

また、多くの学校でタブレット端末の持ち帰りを実施し、家庭学習や宿題等に活用するとともに、各種アンケートをタブレット端末等で行うことで、集計等が効率的に行え、業務改善に繋がっているとの話も聞くことができた。

なお、画面の小さなタブレット端末を利用した授業の増加、家庭でのゲーム機やスマートフォン等の使用時間の増加などもあるため、学期ごとに視力検査を行うなど、児童・生徒の視力の低下については注視していただきたい。

#### (5) 学力の現状と向上対策について

埼玉県学力・学習状況調査の結果を見ると、改善傾向にあるとは思われるが、依然として県平均に比べ全体的に低い傾向がみられる。特に中学校の英語についてはその傾向が強いことから、学校での指導内容を見直すなど、さらに指導を強化されたい。

また、家庭学習を通して苦手な分野について繰り返し学習を行うなど、基礎学力の向上に努められたい。

#### (6) 地域との連携について

学校応援団活動では、下校の見守りなど児童・生徒の安全を確保する取組については引き続き全学校で行われていたほか、体験授業等についても実施をしていた。

各学校ともコロナ禍で地域との交流が遠ざかってしまったが、徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあると感じられた。

なお、今のところ活動に大きな支障はないようだが、学校応援団等の高齢化等により登録人数が減少している学校も見られることから、新たな人材の発掘が望まれるところである。

※学校応援団：学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織のことで、平成17年度から埼玉県教育委員会が取り組み始め、平成28年度には埼玉県内全ての小・中学校で学校応援団が設置されている。

#### (7) 災害時の対応及び防災対策について

各学校とも災害別の危機管理マニュアルを整備し、様々な災害や不審者を想定した避

難訓練が実施されている。今後も、災害時等に児童・生徒の命を守るため、継続的に工夫のある取組を実践されたい。

#### (8) 予算執行状況（歳出）について

配当された学校管理費については、計画どおり執行されていた。

なお、各校とも1月の訪問時点では、3学期中に残りの予算執行の予定がほぼ決定しているとのことであったが、燃料費高騰に伴い、配当予算の不足が発生する可能性があるとの話もあったため柔軟な対応をお願いしたい。

#### (9) その他学校経営において参考となる事項について

##### ・スクール・サポート・スタッフについて

各学校にスクール・サポート・スタッフが配属されたことで、教職員の業務負担軽減に繋がり、時間外勤務が減少しているとのことであった。

※スクール・サポート・スタッフ：学習プリント準備や採点準備、来客や電話対応、環境整備など、教員が長時間労働を迫られる一因とされる業務をサポートし、教員がより児童生徒への指導や教材研究に注力できるようにするための職員

##### ・樹木の剪定について

ほとんどの学校において、樹木の剪定費が不足しているとの話が聞かれた。低木については、学校応援団の協力や、教職員による作業により対応をしている学校も見られたが、管理の必要な樹木（特に高木）の多い学校では苦慮していた。

高木の管理については、教育委員会で一括管理を行うこと等も含め、学校と教育委員会でよく確認・協議をし、適切な維持管理に努められたい。

### 3 各学校の個別的事項について

**三俣小学校** 児童数526人（学級数18学級＋特別支援学級数3学級）

#### (1) 学校概要等

・児童数はR7年1月1日現在526人で、全学年3学級となっている。

#### (2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は2人となっているが、3日欠席が続いた場合は家庭訪問を行い、児童本人と保護者の現状把握に努めながら継続した支援を行っている。
- ・いじめ認知件数は5件となっているが、生徒指導主任及び管理職、学年担当を中心に連携を取りながら全て解決している。

#### (3) GIGAスクールの運用状況について

・ICTサポーターを中心に、全教職員が活用できるよう研修を実施し、活用率は高い。

- ・児童には家庭に持ち帰ることを推奨し、家庭学習に活用できるようにしている。
- ・タブレット端末の故障が1日1件程度ある。

#### (4) 学力の向上対策等について

- ・県の学力・学習調査の結果によると、「先生の話や友達の発表から自分の考えを伝えること」に課題がある。向上対策として、他者の考えを受け止め、自分の考えの中に取り入れていく「対話的な学び」を実現し、自分の言葉で発信できる児童の育成に継続して取り組んでいる。
- ・読書タイムを実施し本を読む機会を増やす。
- ・全教職員の授業を見合うことで授業の改善を図る。

#### (5) 地域との連携について

- ・学校応援団の登下校時の見守りに加え、樹木の剪定、除草、体験活動のサポート等で協力を得られている。
- ・学校応援団の高齢化が進んでいるため、今後の人材確保が課題とのことであった。

#### (6) 災害時等の対応について

- ・避難訓練（地震、火災、不審者）及び防災訓練等を実施し教職員、児童、保護者の意識の向上や避難行動の徹底を図った。
- ・酷暑対応としてWBGT計測と教育活動制限の共通認識を図り事故防止に努めている。

#### (7) 予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行されている。

#### (8) その他

- ・教科担当制を導入したところ、健康を損なう教職員が減った。また、管理職がローテーションで解鍵、施錠する等1人の教員に負担がかからないような対応をされていた。

**不動岡小学校** 児童数197人（学級数7学級＋特別支援学級数2学級）

#### (1) 学校概要等

- ・児童数はR7年1月1日現在197人で、2学年のみ2学級となっている。

#### (2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は0人である。長期欠席には至らないが欠席の続く児童がいるため、担任が保護者に様子を確認し、管理職や養護教員と情報を共有し、状況に応じては全教職員で組織的に対応している。
- ・いじめ認知件数は5件であった。生徒指導上の課題等の未然防止及び早期発見、早期

解決に向け、全教職員で組織的に対応するとともに、必要に応じてスクールカウンセラーや関係諸機関とも連携を図り対応を行う。

(3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・ I C T活用に係る校内研修や、情報主任・副主任による研究授業を行っているため、I C Tを積極的に活用する教員が多い。
- ・ タブレット端末は、毎日持ち帰ることを前提とし、宿題の配信、連絡帳として活用している。

(4) 学力の向上対策等について

- ・ 全国学力・学習状況調査の結果は、ほぼすべての領域で全国平均を上回った。
- ・ 埼玉県学力・学習状況調査の結果は、昨年度より伸びが見られたが、国語の「話すこと・聞くこと、書くこと」、算数の「図形」等において、県平均を下回っており、さらなる学力向上をめざし、非認知能力や学習方略にも着目し、研修を深めていく。

(5) 地域との連携について

- ・ 地域との交流が戻りつつあり、学校応援団の登下校の見守り、読み聞かせ、稲作体験の支援、家庭科や総合的な学習の時間の学習支援等の活動により地域との連携を深めている。

(6) 災害時等の対応について

- ・ 地震、火災、不審者侵入等、様々な想定で避難訓練を実施している。また、引渡し訓練を年1回実施し、災害時における対応を確認している。また、毎年、教職員対象の心肺蘇生法やアレルギー対応に関する研修会を実施している。
- ・ 酷暑対応については、校庭や体育館での活動前や活動中にW B G Tを計測し、事故防止に努めている。

(7) 予算執行状況について

- ・ 配当された予算については計画的に執行されている。

(8) その他

- ・ 大規模改修を行っていない施設の老朽化や、高木の剪定については、今後、対応が必要になってくる可能性がある。
- ・ 枯れてしまった桜や、老木は危険性があるので伐採が必要である。

**礼羽小学校** 児童数270人（学級数11学級＋特別支援学級数3学級）

（1）学校概要等

- ・児童数はR7年1月1日現在270人で、1学年から5学年は2学級、6学年は1学級となっている。

（2）長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は7人となっている。訪問指導や面談の対応を行うとともに、スクールカウンセラーや各種関係機関と連携しながら、解消に向け取り組んでいる。
- ・いじめ認知件数は1件となっているが、管理職の指導のもと生徒指導主任を中心に組織的な対応を行い、解決に向け取り組んでいた。  
児童アンケート等で気になる回答があった場合は、保護者に聞き取りを実施し、早期発見、早期解決できるように組織的な対応を行っている。

（3）GIGAスクールの運用状況について

- ・活用率は高く授業では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実「教育効果の可視化」をするために活用している。家庭では宿題、連絡帳等で活用している。

（4）学力の向上対策等について

- ・全担任が提案型研究授業を年1回実施し、経験豊かな教職員から若手へ指導技術を伝達する若手塾を実施し教職員の授業力向上を図っている。

（5）地域との連携について

- ・学校応援団の協力で、登校指導、読み聞かせ、総合・生活科、図工を実施し、地域の方との触れあいを通し、子どもたちのコミュニケーション能力の育成や感謝の心の育成が図れている。
- ・新たな人材指導者の育成、人材育成が課題とのことであった。

（6）災害時等の対応について

- ・自分の命は自分で守る意識を高めるために、教職員がいない時間（休み時間）に予告無しでの避難訓練を数回実施し、毎年教職員対象の心肺蘇生法やアレルギー対応に関する研修会を実施している。また、6年児童、保護者対応の救命救急講習会を開催し、心肺蘇生法を学んだ。
- ・酷暑対応では、校庭や体育館のWBGTを常に計測し、放送等で全校に周知しながら事故防止に努めている。

（7）予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行されている。



- ・燃料費高騰に伴い、配当予算の不足が発生する可能性がある。

**鴻荃小学校** 児童数91人（学級数6学級＋特別支援学級数2学級）

(1) 学校概要等

- ・児童数はR7年1月1日現在91人で、全ての学年が1学級となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は0人である。保護者と対面で話す機会を増やすことで、学校、家庭での児童の様子を伝え合うように取り組んでいた。
- ・いじめ認知件数は3件あったが、既に2件は解決し1件についても管理職を中心に連携を取りながら解決に向け取り組んでいた。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・対話的な学びでは、オクリンク等を使用し意見交換を行っている。また、自習等では、ドリルパークを使用することで、教員の負担軽減に繋げている。

3年生以上は毎日端末を持ち帰り、家庭学習で使用するようになっている。

※オクリンク：発表資料・ノートの制作に役立つ授業支援ソフト

※ドリルパーク：PC タブレット端末等を利用し、インターネット接続環境において個別学習できるドリル教材

(4) 学力の向上対策等について

- ・教職員同士の相互授業参観を行い、授業力向上を図っている。
- ・児童へ読書活動を推進し、読解力の向上を図っている。

(5) 地域との連携について

- ・学校応援団の登下校時の見守りに加え、学習支援についても協力を得られ、地域の方との活動を通して、児童が地域に支えられていると自覚を持つことができた。
- ・学校応援団の高齢化が進んでいるため、今後の人材確保が課題とのことであった。

(6) 災害時等の対応について

- ・状況に応じた自主的な避難行動ができるようにするため、避難訓練を実施（地震・火災・水害・不審者対応）、シェイクアウト訓練、引き渡し訓練を実施している。

(7) 予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行されている。

(8) その他

二学期から故障のため校門が閉鎖できない状況で、9月に修繕の申請をしたが、1月の訪問時点では修繕待ちとの話であったことから、今後は速やかな対応をお願いしたい。

**高柳小学校** 児童数211人（学級数10学級＋特別支援学級数2学級）

（1）学校概要等

- ・児童数はR7年1月1日現在211人で、4、6学年が1学級、それ以外は2学級となっている。児童数が年々増加しており、令和9年までは増加見込みである。

（2）長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は1人となっているが、家庭訪問を実施し、家庭との連携を行ってきたことで改善傾向にあるとのことであった。
- ・いじめ認知件数は9件となっているが、生徒指導情報交換会で全職員へ周知し、共通の理解をすることで、2学期末時点で5件を解消できた。引き続き、家庭とも連携しながら対応していくとのことであった。

（3）GIGAスクールの運用状況について

- ・活用率は高く、特にドリルパーク、オクリンクを活用している。
- ・ドリルパークを宿題にする等、教職員の負担軽減に繋がっている。効果的な活用方法を校内で共有するための研修を実施している。

（4）学力の向上対策等について

- ・教職員の振り返りチェックリストを作成、実施、考察することで、教職員の指導力の向上を図っている。また、算数において、習熟度学習を実施し実態に応じた指導を行っている。

（5）地域との連携について

- ・学校応援団の協力で、登下校時の見守りに加え、樹木剪定、除草、サツマイモ栽培、そば打ち体験等を実施し地域との連携を深めている。

（6）災害時等の対応について

- ・引き渡し訓練、総合水害広域避難訓練、避難訓練（火災）、地域防災訓練を実施し、児童の災害に対する意識を高める指導が行われていた。
- ・酷暑対応として、夏場の体育を工夫し対応されていた。

（7）予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行されている。

(8) その他

- ・大谷選手からプレゼントされたグローブがきっかけで、野球をする児童が増えたとのことであった。

**豊野小学校** 児童数93人(学級数6学級+特別支援学級数1学級)

(1) 学校概要等

- ・児童数はR7年1月1日現在93人で、全学年1学級となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について(2学期末の状況)

- ・長期欠席者は2人となっているが、担任、養護、生徒指導、管理職等で保護者と関係が切れないように組織的に対応を図っている。
- ・いじめ認知件数は1件であったが、解決済みである。引き続き未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでいく。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・教職員が研修を通して相互に情報を共有し、教職員の公開授業を実践し、ICTスキルの向上を図っている。

(4) 学力の向上対策等について

- ・長期的な取組として、主体的・対話的で深い学びの授業改善・工夫をし、課題の明確化、振り返りの時間の確保、ペア・グループ学習の意図的設定、ICT機器の効果的活用・学力学習状況調査の結果を分析して、伸びの見られた学年・教科の取り組み方法等について共有を図った。また、短期的な取組では学期毎の学力定着週間の設定、練習問題を活用することで一定の成果が表れている。

(5) 地域との連携について

- ・学校応援団の登下校時の見守りに加え、学習支援、体験活動、読み聞かせについても協力を得られている。特に学習支援では、担任と応援団の複数で対応できるため教職員の負担軽減に繋がっている。
- ・学校応援団の高齢化及び後継者不足が課題である。

(6) 災害時等の対応について

- ・引渡、不審者、火災・地震、総合水害広域避難訓練を実施し児童の災害等に対する意識を高める指導が行われていた。
- ・酷暑対策では、WBGTを基に運動・外遊びの制限、登下校時の安全対策を行っていた。

(7) 予算執行状況について

- ・ 配当された予算については計画的に執行されている。
- ・ 燃料費高騰に伴い、配当予算の不足が発生する可能性がある。

**加須北中学校** 生徒数 105 人（学級数 3 学級+特別支援学級数 2 学級）

(1) 学校概要等

- ・ 生徒数はR7年1月1日現在105人で、全学年1学級となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・ 長期欠席者は8人となっている。  
長期欠席生徒の解消を重点課題とし、教職員から管理職等への報告・連絡・相談、迅速な対応を徹底している。
- ・ いじめ認知件数は0件となっている。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・ 教職員が授業での効果的な活用例を発表し、教員間で活用法の共有を図り、教職員による活用等の差異を減少させた。
- ・ 授業では、情報収集だけではなく、課題の作成及び提出や教師や生徒との意見交換などに活用している。

(4) 学力の向上対策等について

- ・ 授業において「ねらい」を明確にし、「振り返り」の時間を確保し、できるようになったこと、わからなかったことを明らかにしている。
- ・ 教え合い学習やICTを活用することで個々の生徒が、他の生徒の解答を参考にしながら、理解を深められるように工夫されているとのことであり、その結果、積極的に学習に取り組む生徒が多くなっている。

(5) 地域との連携について

- ・ ひまわり会の協力によるそば打ち体験、環境整備（除草等）を行っている。  
教職員だけでは対応できない事にも協力を頂けていることで、教職員の負担軽減に繋がっているとのことであった。
- ・ 部活動指導者増員、新たな学校応援団の確保が課題である。

(6) 災害時等の対応について

- ・ 年3回の定期的避難訓練の実施。年数回、臨時のシェイクアウト訓練を実施し、危機管理マニュアルに沿って、緊急時の行動について確認を行っているため、生徒の防災意識、教職員の災害時対応能力が向上した。

(7) 予算執行状況について

- ・ 配当予算については計画的に執行されている。

(8) その他

- ・ 平成20年の大規模改修がトイレのみの改修で、未改修箇所の老朽化が進んでおり、蛍光灯の器具の故障や鍵の破損等によって、修繕が必要な箇所が増えてきているので、順次修繕対応をしている。一方で壁の剥離や、雨漏り、敷地を囲む柵の腐食等がみられるため修繕を必要とするが、費用面等で叶わないものもある。

**騎西中学校** 生徒数439人（学級数12学級+特別支援学級数5学級）

(1) 学校概要等

- ・ 生徒数はR7年1月1日現在439人で、全学年4学級となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・ 長期欠席者は54人（1年6人、2年24人、3年24人）となっている。  
スペシャルサポートルームを設置し、生徒にとって登校しやすい環境をつくる取組、家庭や学校間、関係機関と連携した指導を行っている。また、家庭環境も含め、生徒指導上配慮を要する生徒もおり、担任や学年担当のきめ細かい指導を継続している。
- ・ いじめ認知件数は24件となっているが、教職員から管理職等への報告・連絡・相談と迅速な対応を徹底し、早期発見、早期対応、早期解消を図っている。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・ 教職員の研修を行い、授業での活用法の共有、教職員の相互授業参観により、効果的な事例を共有した。
- ・ 授業中Wi-Fiが繋がりにくいことがあり、用意した教材が使えず授業が止まってしまふことがあり、授業での使用を避けてしまうことがある。

(4) 学力の向上対策等について

- ・ 全教職員が授業改善に向けて研究し、主体的・対話的で深い学びの実現に向け取り組んでいる。また、教科や学年の枠を超えた研究グループで、授業改善のための授業の相互参観を行った。

(5) 地域との連携について

- ・ コロナ禍で縮小していた地域行事が再開され、校外での生徒の活躍の機会が増えた。
- ・ ふれあい推進長や応援団の高齢化に伴う担い手の確保が課題である。

(6) 災害時等の対応について

- ・年3回の避難訓練を実施し、危機管理マニュアルに沿って、緊急時の行動を確認した。
- ・加須市中学生防災ボランティア研修会に2年生が参加し、2名が防災士の資格を取得した。
- ・避難訓練等の防災教育の推進によって、生徒の防災意識を向上させることができている。
- ・熱中症警戒アラート発令時は、空調施設のある室内での活動のみに限定をしている。

#### (7) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行されている。

#### (8) その他

- ・校舎や各所設備の老朽化が進み、多数の箇所では修繕が必要な状況のため、予算の関係で、優先順位を付け計画的な修繕を行っていく必要があるとのことであった。
- ・予算の関係で十分な剪定作業を行えない状況で、校外に枝木が伸びている樹木が多数あるので、近隣の妨げにならないよう早急に対応していくことが課題であるとのことであった。